

Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のシステム状態 ページにいろいろなカウンター、アプライアンスの健康を監視し、メール ストリームを理解する使用された両方である場合もあるレートおよびゲージがあります。

このページは **Monitor>System** ステータスによって GUI からアクセスである場合もあります

CLI から同じようなビューはステータス **detail** コマンドを使用して見つけることができます:

```
esa.example.com> status detail
```

```
Status as of:                Wed Aug 06 08:24:18 2014 EDT
Up since:                  Wed Jul 09 15:10:21 2014 EDT
(27d 17h 13m 57s)
Last counter reset:       Wed Jul 23 14:21:11 2014 EDT
System status:            Online
Oldest Message:          1 day 17 hours 10 mins 37 secs
Feature - Symantec Brightmail Anti-Spam: Expired
Feature - IronPort Image Analysis: Expired
Feature - Sophos Anti-Virus: 232 days
Feature - Bounce Verification: Perpetual
Feature - IronPort Anti-Spam: 232 days
Feature - IronPort Email Encryption: 232 days
Feature - RSA Email Data Loss Prevention: 232 days
Feature - Intelligent Multi-Scan: 68 days
Feature - Incoming Mail Handling: Perpetual
Feature - Outbreak Filters: 232 days
```

「以前のメッセージ」値は以前のメッセージがずっと配信を待っていること時間数を示します。これには両方の作業待ち行列またはメッセージ待ち行列にあるメッセージが含まれています。従って **unattempted** 受信者値はメッセージ待ち行列のアクティブな受信者のサブセットで、以前のメッセージを含むことができます。

以前のメッセージは「秒の最大数 キューにハードに跳ねられる前にメッセージが GUI の **Network->Bounce** プロファイル CLI の **bounceconfig** コマンドによって設定されて」、がようとどまる、かもしれないより古くないはずです。